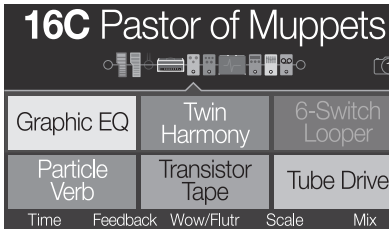


プレイ画面

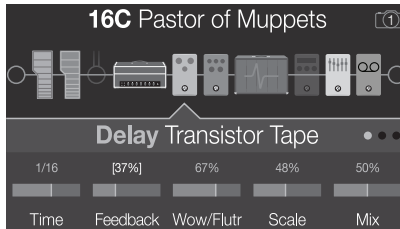
分からなくなりましたか？

⌂を押せばいつでもホーム画面に戻れます。

⌂を押すと、プレイ画面とエディット画面が切り替わります。



エディット画面



アップノブ

プレイ画面: 回してプリセットを選択します。押してプリセットリストを開きます。

エディット画面: 回してブロックを選択します。押すと選択したブロックをバイパスします。

POD Go オーナーズマニュアルは line6.com/support/manuals から入手できます。

line6.com/meet-pod-goには、多数のチュートリアルビデオが用意されています。



ACTION

押して選択したブロックまたはメニューのアクション・パネルを開きます。サウンドを保存するときは⌂ + ACTIONを押します。

VOLUME

回してMAINとヘッドフォンの出力レベルをコントロールします。

ノブ1~5

ノブを回して選択したブロックのパラメーターを調節します。

押して値をリセットします。

押して Hzやmsと音価を切り替えます。

長押しすると、Bypass/Control ページへジャンプしてそのパラメーターを参照することができます。

ここを押しながら回すと、スナップショットへパラメータが割り当てられます。

コントローラから割り当てを解除する際は、ACTIONを押しながらノブを押します。

プリセット・フットスイッチ

フットスイッチA、B、CまたはDを踏んで、プリセットを選択します。

▲/▼を踏んで、プリセットの次/前のバンクを選択します。

▲と▼の両方を踏んで、Snapshotフットスイッチ・モードに入ります。

バンク、メモリーの切り替え、またはSnapshotのアップ/ダウンの操作は、▲と▼の両方を長押しして行います。

STOMPフットスイッチFS1~FS6

フットスイッチを踏んでブロックのオン/オフを切り替えます。フットスイッチを長押しして選択したブロックを割り当てます。動作を割り当てた2つのフットスイッチを長押しすると、割り当てを入れ替えることができます。

MODE

MODEを踏んでプリセット・モードとストンプ・フットスイッチ・モードを切り替えます。

TAP/TUNER

TAPを踏んでテンポを設定します。長押ししてチューナーを開きます。

ローノブ

エディット画面: 回してモデルを変更します。押してモデルリストを開きます。

◀ PAGE ▶

押すと、選択したブロックやアイテムに用意された多くのパラメーターを見ることができます。

◀ PAGE + PAGE ▶を押すと、さらに高度な機能や設定が記載されたメニューを開くことができます。

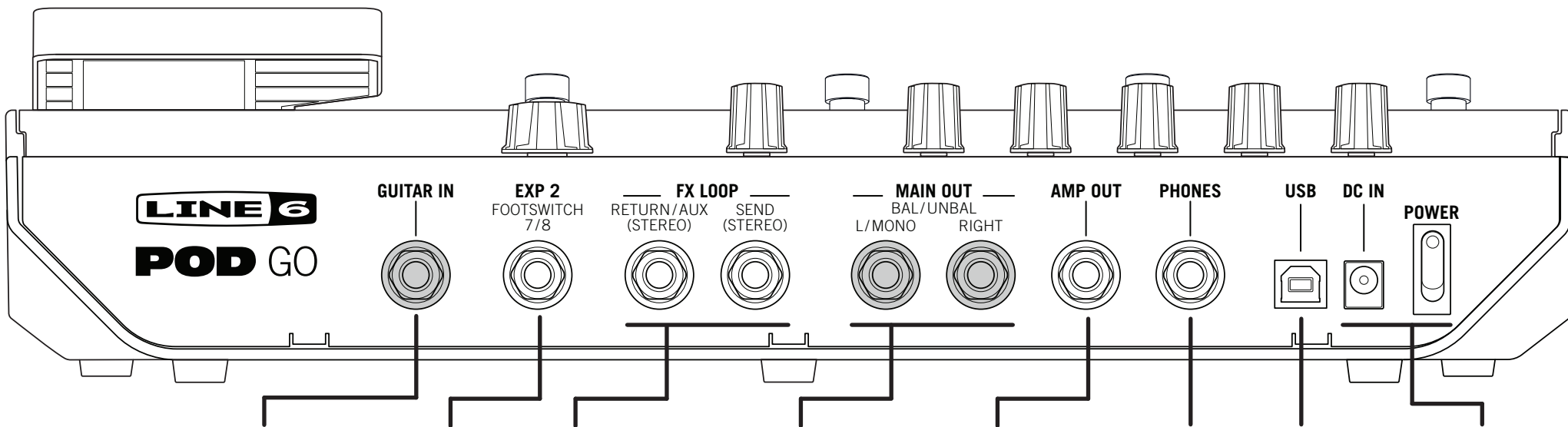
エクスプレッション・ペダル1/2

エクスプレッション・ペダルを動かして、ボリューム、ワウ、またはアンプとエフェクトのパラメーターの組み合わせをコントロールします。

トウスイッチを有効化させるとワウ(EXP 1)とボリューム(EXP 2)を切り替えることができます。

POD GO

チートシート



GUITAR IN

ここにギター、ベースギターまたはシンセを接続します。

EXP 2、FS 7/8

2台目のエクスプレッションペダルやモーメンタリーフットスイッチは、ここに接続します。2つのスイッチを接続するときはYケーブルを使用します。

FX LOOP

1つのモノ、またはステレオのエフェクトループとして外部ストンプボックスをトーンへ差し込んだり、4ケーブル方式でアンプへ接続することができます。

RETURNはステレオAUX入力として常時動作するように設定可能です。

MAIN OUT

パワードスピーカーへ接続します。1つのスピーカーへ接続する場合は、L/MONO出力を使用します。信号をバランスでミキサーへ送信する場合は6.3mm TRS > XLRケーブルを使用します。

AMP OUT

ギターアンプの入力へ接続します。MAIN OUTの信号が反映されますが、Cab/IRブロックの前で出力するようグローバル設定で変更可能です。

PHONES

ここにヘッドフォンを接続します。トップパネルのVOLUMEノブを回してレベルを調節します。

USB

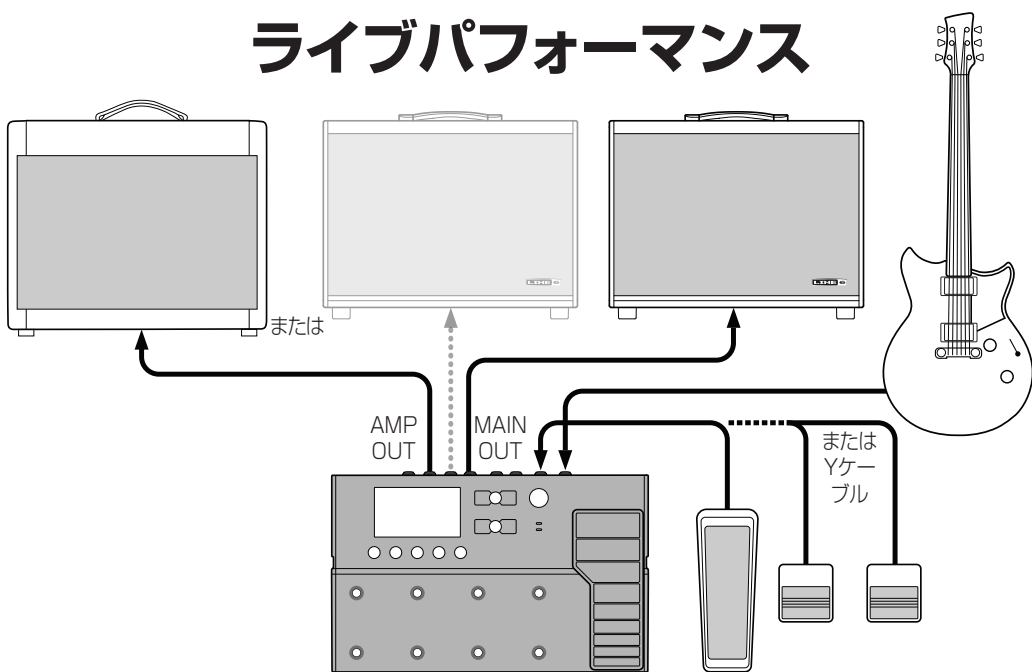
コンピュータと接続すればPOD Go Editを介した編集やファームウェアの更新を行うことができます。

POD Goは、リアンプ機能を搭載したオーディオ/MIDIインターフェースとして機能します。

DC IN/POWER

Line 6は同梱のDC-3h電源アダプターのみを使用することを推奨します。

ライブパフォーマンス



レコーディング

